

Imadoki

2022
December 12

vol.92

伊勢から kintone で

日本を元気にする



1 年を振り返って

「ジャンネーの法則」ってご存じですか？

小学生の頃は 1 日がとても長く感じられたのに、社会人になってから、そして更に 40 歳を超えてからは「年が明けたと思ってたら、もう 12 月!?!」「ついでの間生まれた友人の子どもがもう中学生!」など、時間が過ぎる早さが加速しているように感じる現象を説明する法則です。

多くの方が共通して感じている、この感覚「人間の体感時間は、それまで生きてきた年齢に反比例する」はなぜ起きるのか？「ジャンネーの法則」では説明として、

◆新しい経験が減って記憶に残らない

子供の頃は、毎日学校に行き、新しい発見や気づきがありますが、大人になると既に知っているコト・モノの中で過ごす時間が増え、同じことの繰り返しの日々で脳が慣れると、「特に新しいことがない 1 日だった」として記憶にも残らず、あっという間に時間が過ぎたという感覚になってしまうそうです。

◆ストレスを感じることも減る

辛い時間は楽しい時間より長く感じたり、挑戦して試行錯誤する体験は時間を長く感じさせます。しかし長年同じ会社に勤務し、同じ手順で仕事し、同じ場所に住み、同じお店に行く生活を続けていると、変化に乏しく、ストレスを感じることも少ないため、これまたあっという間に時間が過ぎたという感覚になってしまうそうです。

したがって、子どもの頃のように様々なことに興味を持ち、新しい経験を重ね、新しい思い出や経験を重ねる毎日を過ごせば時間を長く感じる事ができそうです。

多くの方がコロナによる行動制限により、海外旅行なんてトンデモナイ!、外食回数も減り、家に居るだけの変化に乏しい日々を強いられた結果、コロナが始まってからの 3 年は記憶に残ることが少ない、あっという間に過ぎ去ってしまった時間となってしまったのではないのでしょうか？

コムデックでは、2022 年も、Youtube「Kintone 芸人」の拡大、IT 活用戦略セミナー再開、社長交代、「CybozuDays」初出展など目まぐるしく新しい取り組みを行いました。

2023 年も同じく、コロナの呪縛から脱却し、変革、チャレンジを続けることで、皆が子供時代のように 1 日を長く感じるような日々を過ごせるようお客様と一緒に取り組んでいきたいです!



フランスの哲学者
ポール・ジャンネ
(1823 年～ 1899 年)



CybozuDays レポート

2022.11.10/11 幕張メッセ 1-3ホール

START!



【 CybozuDays の入り口 】
突然スモークが噴き出したり、スタッフさんは某テーマパークのジャングルクルーズのような恰好をしていたり、普通の展示会とはひと味違ったイベントです。

kintone 芸人ブースではもちろん Youtube を放映! パッケージのご紹介をしたり、パーカーにコメントをいただいたり、コムデックが提供している伴走支援についてお伝えしたり。さらにブース前を通る皆さんを顔認識し、どれくらいの年齢層・性別の方が来たのかを自動で kintone に登録するシステムの実演を行いました! kintone×AWS で自動顔認識システムを作った事例はコムデックラボでもご紹介しています!



コムデックラボ
事例紹介はこちら▶

1 特注パーカーで伊勢から参上! kintone 芸人ブース

入り口を入ってすぐ、薄暗い会場内でずいぶん目立つ山吹色のパーカーが居るなあ……と思ったら我が kintone 芸人でした。ご来場の方の中には kintone 芸人の動画を見ている方も多数いらっしゃり、kintone 芸人がじわじわと勢力拡大している様子を窺うことができました。



2 ミニセミナーは大盛況! kintone で高生産性を実現する事例をご紹介します

- | Level 01
導入 | Level 02
業務効率向上 | Level 03
生産性向上 (粗利↑) |
|--|--|--|
| 標準機能のみでの構築 | 簡単なプラグイン実装 | 難易度高いプラグイン実装 |
| <ul style="list-style-type: none"> 脱Excel 業務に関する最新の情報を一元管理 スマホ活用 ユーザー企業主体での構築/運用推奨 | <ul style="list-style-type: none"> 無料プラグイン 印刷機能の追加
PrintCreator メール送信機能の追加
kMailer 専門家 | <ul style="list-style-type: none"> アプリ間の自動集計
krewData BI/ダッシュボード
krewDashboard JavaScript 専門業者 |

kintone 芸人としてブースを出展しただけではなく、生田社長はセミナーにも登壇。kintone の活用レベルを 3 つに段階分けし、「Excel を置き換えて便利になった」にとどまらず、kintone で自社の価値を向上させるところまで実現できる kintone の活用方法を 3 つご紹介しました。セミナーでお伝えした 3 つの生産性向上事例はこちら!

事例1 タスクの自動作成

手動でタスクを登録していくのは手間もかかるし抜けもれの心配もあります。やるべきタスクを kintone が自動で登録してくれればいいのに……。なんと krewData というプラグインを使えばできちゃうんです!

事例2 kintone の情報を外部共有

タスクの進捗状況や、注文いただいた商品の手配状況等、お客様に共有する必要がある情報っていくつかありますよね。それらを電話やメール、チャットで伝えるのではなく、お客様自身に kintone に登録されている進捗状況を見ることが出来ます! 社内で情報共有するだけではなく、そのデータを活用して「お客様に情報共有するためのプラットフォーム」を作り、まるで Amazon のマイページのように見いただくことができます。

事例3 人時生産性の自動算出

kintone に登録された情報は自動的に集計することができますが、それはあくまで「一つのアプリ」の中の話。売上集計や作業時間の集計はそれぞれのアプリでできても、それらを掛け合わせて 1 時間当たりの売上を出すなんて、CSV で書き出して加工するしかないよ、と思いませんか? krewData ならアプリをまたぐ集計もお手の物! さらに krewDashboard を使うことでそれらの集計を Excel 以上に見やすくかつリアルタイムで表示することができるようになります。

その他にも……こんな興味深いコンテンツが!



[kintone AWARD]

日本各地で開催された kintone hive のエリア優勝たちが集い、自社の kintone 活用事例を発表するセッション。kintone 導入時の苦労には思わず深く頷いてしまう場面も……業種も規模も年齢もバラバラの kintone 担当者たちが、どんなことに躓き、どうやってその課題を乗り越えて kintone を社内に浸透させていったのかを知ることができる、興味深い事例ばかりでした。グランプリは東北エリアの建設業の企業。使ってもらえなかったアプリを一旦全部捨て、社内の人たちが kintone アプリを作れるように育てていった根気強さに驚きました。

3 驚きのカスタマイズが続々! kintone show+case unlimited

1 日目の締めくりに、メイン会場で開催されたのが「kintone show+case」。昨年までは「kintone hack」というタイトルで開催されたこちらのセッションは、その名の通り「kintone の使い方をハックする (アイデアでより便利に) カスタマイズ」を披露する場です。予選を勝ち抜いたカスタマイズ事例たちが一堂に会するセッションに、なんと kintone 芸人も登壇! 「スマホで kintone アプリを作れる、修正できる」という画期的なアイデアで本戦の強敵たちに挑みました。結果は惜しくも 4 位でしたが、kintone 芸人のチャンネル登録者数が増えたので結果オーライです!



「暴れん坊将軍」はサイボウズが用意してくれた「kintone マスター」としての肩書です (笑) 優勝は kintone の検索を柔軟にするカスタマイズでした。

[kintone ユーザーがリアルに語る! プロと一緒に進める伴走 DX]

昨年生田社長が登壇した伴走セミナーに当たるセッションが今年もありました! 事前予約の時点で満席だったことから、「プロに伴走してもらって DX する」ことへの関心の高さが窺えます。実際にプロに伴走してもらっている 2 社が登壇し、プロにお願いすることになった経緯やその効果をお話されていました。kintone 芸人ブースでもパネルを出していましたが、ただアプリを作ったり、作ったものを修正するだけの「保守」とは異なり、「伴走」とはともに事業の成長を目指してあるべき姿までの道筋を一緒に考える支援の形です。コムデックやこのセッション以外にも、様々なブースが「伴走」をキーワードにしていました。

kintone の伴走DX

自社だけでは解決できない課題について、kintone の専門家にアドバイスをもらいながら継続的にDXを進める方法

昨年の株式会社クレーンメンテ 広島様と生田社長の伴走対談は記事にもなっています!

CybozuDays は来年も開催が予想されます。様々な事例や連携できるシステムを知ることができる機会となっていますのでお時間が許せば是非ご来場ください!

船井総合研究所様 「先進企業視察バスツアー in 伊勢」来訪



コロナ禍により中止されていた船井総合研究所「先進企業視察バスツアー」の再開第一回に選ばれたのは伊勢の三社！

全国から前向き社長が伊勢に集まり、内宮前の飲食 IT「伊勢そばや大食堂 / そばや商店」、世界金賞 クラフトビール「伊勢角屋麦酒(二軒茶屋餅)」、そしてわれらが「コムデック」の視察に回っていただきました。

三社に共通しているのは、経営者の熱い情熱と地方の中小企業でありながら、少子高齢化による日本の将来を見据えた取り組みを実行し、人口減少する地域に過度にコミットせず、ITを活用して商圏を伊勢だけでなく日本全国へと広げ、優秀な人材を集めている点にあると感じました。

観光需要がかなり戻ってきたとは言え、まだまだコロナ前の7割程度でしょうか？

いつか元に戻るのか待つのではなく、攻めて回復させる気構えでいかないとズルズルと会社が縮小してしまいますので、我々も視座を高くするため他社様の取り組みについて継続して学んでまいります。



そばや 小田島社長による
AIを活用した店舗運用プレゼン



伊勢角屋麦酒様は生産工場だけでなく
バックオフィスの取り組みも見学



コムデックでは、社内ツアーはもちろん
生田社長の講演を開催

速報！

Microsoft 価格改定(値上げ)について

円高の時は何も言っていないのですが、円安になると米国本社の取り分が減るため価格改定(値上げ)するのが外資系企業の常道です。

Microsoftは外資の中でも価格改定には慎重な企業なのですが、大幅な円安に耐えかねて、遂に価格改定通知が届きました。昨年の値上げは一部製品にとどまったこともあり、年間契約に変更することでお客様の値上げを回避させていただきました。しかし今回は、全般的な値上げとなり来年4月以降のご契約につきまして15%程度の価格改定となりますことをご了承ください。

今回の値上げで特徴的なのは、クラウド製品であるMicrosoft365(旧名:Office365)よりオンプレミス製品(プレインストール版Office)の方が値上げ幅が大きいことです。

すでに世界的にクラウド製品が前提となっており、日本市場にしか存在しないパソコン買うとオマケでついてくるOffice製品は割高になるのは必然でしょう。

機能的にもクラウド版であるMicrosoft365の方がSharePointやOneDriveの利用など圧倒的に優れております。パソコンごとに異なるバージョンのWord/Excelを使うこともなくなりますので、オマケのOfficeをお使いの企業様は値上げ前に入れ替えをお勧めさせていただきます。

弊社からパソコンやMicrosoft製品をご購入いただいているお客様に置かれましては、正式なご連絡を2月ごろから実施いたしますので今しばらくお待ちくださいませ。

日本マイクロソフト、法人向けライセンスおよびサービスの価格改定について

2022年11月2日 | Japan News Center

日本マイクロソフト株式会社は、日本円の為替変動に伴い、2023年4月1日から、法人向けライセンスおよびサービスの価格を改定し、オンプレミス製品を20%、オンラインサービスを15%引き上げます。新価格は、2023年4月以降の契約更新や新規契約のお客様に適用されます。

マイクロソフトは、ソフトウェア製品およびオンラインサービスの現地価格の影響を定期的に評価し、地域間の合理的な整合性を確保しております。今回の変更はその評価の結果により、米ドル水準に近づいた実勢価格に調整した結果となります。

値上げ幅

クラウド製品: Microsoft365 15%

オンプレ製品: プレインストール版 Office 等 20%

